

シンポジウム 1

「上部消化管疾患の基礎と臨床の接点」

司会 鈴木 秀和（東海大学医学部内科学系消化器内科学）

堀江 俊治（城西国際大学薬学部薬理学研究室）

上部消化管、つまり、食道・胃・十二指腸には、様々な疾患が発生する。胃酸に関連した、酸関連疾患（胃食道逆流症、胃十二指腸潰瘍など）、好酸球性疾患（好酸球性食道炎、好酸球性胃炎）、感染症（*H. pylori*感染症、Non-*H. pylori* Helicobacter (NHPH)感染症、カンジダ症など）、機能的消化管障害（機能的胸焼け、機能的胸痛、機能的ディスペプシア、機能的嘔吐・嘔気、げっぷ障害など）、炎症性腸疾患（クローン病など）、悪性疾患（食道がん、胃がん、リンパ腫など）等々、症状からみると多くの鑑別疾患がでてくる。酸、食事因子、胃内細菌、生理活性物質なども、その要因に密接に関連してくる。このセッションでは、上部消化管疾患の診断・治療を病態生理と関連させつつ議論していただきたい。